

2021年8月20日

各 位

会 社 名：日本エンタープライズ株式会社
代表者の役職名：代表取締役社長 植田勝典
(コード番号 4829 東証第一部)
問合せ先責任者：常務取締役 田中 勝
T E L：03-5774-5730

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能および実効性のより一層の向上に取り組むことが重要であると考えております。この一環として、取締役会の実効性に関する分析および評価を行いましたので、その結果の概要を下記のとおり、お知らせいたします。なお、当社のコーポレートガバナンスにつきましては、当社ウェブサイトでご公表しておりますので、ご参照ください。

- ・コーポレートガバナンス報告書 最終更新日：2021年7月27日
(<http://www.nihon-e.co.jp/ir/management/governance.html>)

記

1. 評価の方法

取締役会の実効性を評価するため、全ての取締役及び監査役を対象に前回の課題・指摘事項に対する現状の取組状況を報告した上で、取締役会の運営状況（構成、運営体制、審議内容、自由意見）に関する項目に、新たに、「株主の権利・平等性の確保」及び「適切な情報開示と透明性の確保」に向けた体制整備・取組状況に関する項目を追加した質問票を配布し、その集計結果について取締役会にて分析・評価及び課題の共有を行いました。

2. 評価結果の概要

アンケートの結果、取締役会の運営、議題に関する事項については、各項目とも概ね肯定的な評価であり、適切な議事運営の下、活発な議論がなされた上で審議が行われており、取締役会の実効性は概ね確保できていることを確認いたしました。また、「株主の権利・平等性の確保」及び「適切な情報開示と透明性の確保」に向けた体制整備、取組状況も概ね適切である事を確認いたしました。

一方、次の3点を課題として認識し、引き続き、改善を図る必要があるとの指摘がなされました。

- ①取締役会資料に関して、電子的手段の活用、資料配布時期の早期化に努める。
- ②後継者計画や経営陣幹部の選任に関して、更に議論を深める余地がある。
- ③内部監査部門について、三様監査会議、監査役会への定期報告等、監査役との関係は改善しており、今後は社外取締役、社外監査役との連携強化、情報提供等の在り方について検討を深める。

3. 実効性向上に向けた課題

今回の実効性評価結果を踏まえ、抽出された課題、寄せられた意見については、改善に向けた検討、施策を推進し、取締役会の更なる実効性の向上に向け、継続的な取り組みを行ってまいります。

以 上